

～「効率を追求した林業」にチャレンジ～

松本 鉄平 さん（久万高原町（旧面河村））

有限会社マツモト 取締役

久万林業士会 副会長

1983年生まれ



☆経営概況☆

父が経営する有限会社マツモトは、平成10年に建設業から林業に参入し、社員7名と松本親子を含めて9名・2班体制で活躍する林業専門の事業体です。現在、旧面河村を中心として間伐等の森林施業を行い、スギ・ヒノキ材の生産拡大に取り組んでいます。

マツモトでは、取締役の鉄平さんを含めた30代2人と40代3人が主力となり、平成29年4月からは上浮穴高校森林環境科の新卒者1名を加え、これら若手を社長等の経験豊富な先輩が育てながら、生産効率と労働安全を両立した黒字経営を確立しています。

☆ここがポイント☆

鉄平さんは中学まで地元で育った後、高校からの学生時代は松山市で過ごし大学では経済学を学んでおり、卒業後の進路について悩んだ末にマツモトへの就職を選び10年以上が経過したところです。これまで、県林業研究センターが行う林業機械等の研修に積極的に参加しており、技術・経験を蓄積してさらなる高みを目指し精進しています。

現在会社では、**間伐を主体に、皆伐、除伐、植林等の施業を行っているが、久万広域森林組合から委託を受けた事業に加えて、自社で営業し購入した立木の皆伐などの事業量を拡大することで、経営安定と雇用確保を図りながら規模拡大に取り組んでいます。**

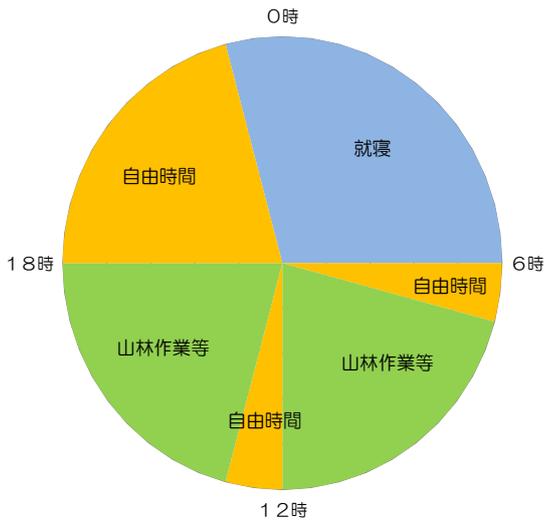
【鉄平さんのチャレンジ】

- 安全を最優先したうえで効率を重要視、「効率を追求した林業」にチャレンジ
- 現場では、チームで働き作業サイクルをうまく回すため、段取りが重要
「段取り八分、仕上げは二分」
- 現場の全体的な計画や、その日その日の計画、準備が仕事の効率や成果に直結
- チームの効率を上げるため、作業のスペシャリスト化も重要視
伐倒・造材・集材や作業道開設などの作業うち、得意分野で腕を磨く人員配置



山林作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

少子高齢化と人口減少が進む久万高原町において、薪ストーブのあるマイホームを新築し定住、地域の活性化に貢献しています。

日曜日は原則休日であり、趣味の読書の他は家族サービスに努めており、妻とまだ幼い子供 2 人の4人家族の生活を満喫しています。

自宅から会社まで 30 分程度の通勤であり、社員が集合した後に山の作業現場へ向かって仕事に取りかかります。雨の日は、会社で販売する薪の商品づくりや事務作業を行っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日	
【繁忙期・普通期】		休日は不定期（天候等により作業が少ない時が休日）					
← 山林作業・事務 →					← 休日 →		



山林作業

☆これからの夢や目指すもの☆

生産性を向上させるため、事業規模を拡大していきたいです。

そのために、林業という過酷な仕事に見合った賃金を得られる会社づくりを行うとともに、若い世代が安心して働ける環境を設け、人材の確保に努めたいです。

事業規模の拡大と、人材の確保の好循環を生み出すことが、これから目指すことであり、課題です。

☆メッセージ☆

これからも、微力ながら山林の整備に邁進していきたいです。

それが林業に携わり、技術ノウハウを持つ者の責任だと思っています。